

平成 28 年度庄原市キャリアデザイン研修会

平成 28 年 8 月 17 日 庄原市ふれあいセンター

学校を取り巻く社会状況が変化する中で、庄原市教職員は 50 代が半数以上という年齢構成を踏まえ、教職員の人材育成をより一層意図的・計画的に進めていく必要があります。庄原市教育委員会では、平成 24 年度から本研修会を開催し、本年度は、若年層（平成 28 年度末時点で教職経験 4 年目、5 年目、6 年目の教職員）を対象に、実施しました。

目的：年齢層に応じた役割期待を明確にするとともに、教職員自らが目標を掲げ主体的に能力開発に取り組むなどにより、教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校の教育力を高める人材を育成する。

内容：講話「年齢層に応じた役割期待」

庄原市教育委員会 学事係長兼主任管理主事 住岡田 浩

パネルディスカッション(これまでの経験を踏まえて、今、感じていること)・グループ協議

講話「年齢層に応じた役割期待」



【受講者から】

- 「やりたいこと」「やれること」「やるべきこと」をしっかり考えたいと思った。
- 今ある環境で学ぶことの大切さを改めて感じた。
- 学校を取り巻く現状と課題を把握して、自分自身の役割を果たすことができるよう向上心をもつことが必要だと感じた。

パネルディスカッション



【受講者から】

- 笑顔とか挨拶、感謝するなど人間として当たり前でできることこそ大切だと感じた。
- 組織として、お互い助け合いながら仕事することの大切さについて学んだ。
- 様々な主任・主事の立場からお話を聞くことができ、あらゆる立場の人が抱える不安や悩みだけでなく、より具体的な役割を知ることができた。

グループ協議



グループ協議では、「これから取り組みたいこと」を中心に掲げ、協議しました。

- ・児童生徒の主体的な学びの実現にむけて
- ・思春期における生徒指導について
- ・教職員の心の安定について
- ・協働的に仕事をする事について

【受講者から】

- 若い先生や子供たちから吸収する姿勢も大切だと思った。
- 先生方のアイデアや力を活かして助け合うことは、自分を高めることにもなり、組織として動く上で重要だと感じた。